

## 東北地方太平洋沖地震の被災地への支援に関する決議

去る3月11日に、三陸沖を震源地として発生した国内観測史上最大級の東北地方太平洋沖地震により、尊い命を落とされた犠牲者に深く哀悼の意をささげるとともに、被災地の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災では、本市は大阪府内でも最も大きな被害を受け、この甚大な被災の経験はなおも記憶に鮮烈であるが、このたびの東北地方太平洋沖地震は、激しい揺れとともに、津波、火災、原子炉損壊などが複合的に発生した激甚な被害状況について、いまだその全貌を把握しきれないほど深刻なものとなっている。

本市は、救命体制をさらに充実強化させ、「世界一安心・安全のまちとよなか」をめざすべく、「救命力世界一」を平成22年（2010年）に宣言しているが、地震発生の当日から、大阪府の要請により、救援のためにただちに救助工作車や救急車などとともに消防職員を被災地に派遣してきた。さらに、被災地からの要請に基づき、今後も職員の派遣や物資・資機材の提供など、大阪府や関係機関と連携しながら、できうる限りの支援の迅速な実施を図ることとしている。

当市議会としては、被災地の1日も早い復興を願うとともに、市の支援策に対して全面的に協力するなど、可能な限りの支援を行う決意である。

以上、決議する。

平成23年（2011年）3月24日

豊中市議会